

2019 年 10 月 25 日

お客様各位

高麗海運ジャパン株式会社

Sunny Daisy 号海難事故における本船遅延のお知らせ

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。高麗海運が運航する
題記本船は 10 月 23 日未明、仙台港から釜石港への航行中、台風 21 号からの
強風と強いうねりを伴った激しい時化に遭遇し、コンテナ 12 本を海中に落下
させる海難事故がございました。同 10 月 23 日 08:00 釜石港に到着した際は、
幸いにも、船体に深刻な損傷はなかったものの、左舷デッキ上積載コンテナ
8 本が積載バランスを著しく崩した状態で確認されました。この 8 本は少しの
揺れで、落下する可能性を帯びており、荷役作業は保安部と荷役業者の判断で、
中止となり、荷役には傾いたコンテナの落下を防ぐ固縛が必要と判断されました。
10 月 23 日 16 時に本船船員がその固縛を試み、10 月 24 日 10 時に到着した
外航船の安全航行を検査する機関 PSC (=ポートステートメントコントロール)
担当官が到着、当該 8 本のコンテナの固縛状態を検査しましたが、それが不十分
であると判断され、航行には PSC が指定するラッシング機材を使用した、より
強い固縛を必要と判断されました。

10 月 25 日現在、指定ラッシング機材を取り寄せている状態の中、太平洋岸東側
を通過する台風 21 号からの強風とうねりが釜石港に届き、固縛作業が暫くでき
ないと判断されております。これにより指定固縛機材の到着と台風による船の
揺れが収まる 10 月 28 日か 29 日、固縛作業再開をさせ、PSC 確認後、釜石での
荷役を行い、その完了を待って、当該本船は仙台港に船を出港させ、仙台にて
特別仕様の陸上クレーンを手配し、被害 8 本のコンテナを岸壁に下ろし、安全な
状態にて、残りの国内寄港地（八戸港、苫小牧港、酒田港）に寄港する予定と
なっております。

この度は、本船が海難事故にて遅延し、当該サービスをご利用のお客様には大変
ご迷惑をお掛け致しました事、深くお詫び申し上げます。今後はより一層の安全
航行に努めますので、ご理解ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具